

日本テキスタイルデザイン協会主催
桐生産地見学会

3.小林当織物（株）織物工場 14:30～16:00

■設備：

工場三ヶ所 ジャガード 200回転～400回転 のものまで
ドビー（14台 但し現在は稼働していません。）

ジャガードでは桐生最大創業50年

後染めなどの染めは米沢、富士吉田に依頼

■主な商材：ジャガード織物。特に、ミセスゾーン向けのフ
クレ織・スパン/デックス使いなど、一味違う凝っ
たもの。

■特徴：

●スピードアップ、省力化/クイック対応→超高速機の導入

後染めへの移行

企画のリードタイムの短縮

●タテ糸フィラメント糸使い、主にナイロンは中国、ポリエチレ
ンは東南アジア（中国では自家工場内で出来てしまいコスト的
に太刀打ちできない）

●サンプルの整理、過去の織物見本の保管（機械を見てもよく
わからないが、織られた生地を見て触れると身近に感じるの
ことができるのか参加者は熱心に見入っていました。時間が
少なすぎたことが残念。）

4.大澤翔会 伝統横振刺繍 16:00～18:00

場所は大澤翔会ではなく、桐生の地場センターの会議室で
持参して戴いた作品を紹介してもらい、作品作りの姿勢、女
性の仕事師としての哲学を語って戴いた。

■大澤紀代美氏の講演概要

山本寛斉のバリコレ「アイコン」の制作で有名

17才の頃は画家を志望していたが、絵では食べられない。

刺繍と出会いこれだと思った。筆の代わりにミシンの針で
絵の具の代わりに糸を使って絵を描く。（刺繍画）刺繍を初
めて40数年になるが一度も他のコトをやりようと思ったこと
もなく迷いもなかった。制作中は無心でありその為、どう
やって刺繍したのかわからないところもしばしばあるとか。

